

広報

やまと

7 月号

2014 No.234

第68回県民体育大会・第55回大島地区大会 開催



第68回県民体育大会・第55回大島地区大会が、7月12・13日を中心に奄美群島内の12市町村において開催されました。本村からは全24種目のうち12種目に123名が参加。日頃の練習の成果を発揮し全力プレーで会場を大いに盛りあげました。

本村において行われたラグビーフットボール競技において大和村チームが3年連続4回目の優勝を果たしたほか、バドミントンや陸上競技で上位に食い込む活躍を見せました。連日炎天下での競技でしたが、選手皆さん、本当にお疲れ様でした。

なお、大会の結果は次のとおりです。

- ラグビーフットボール 1位
- バドミントン(女子) 2位
- 水泳(女子総合) 2位
- 軟式野球 3位
- 水泳(男女総合) 3位
- ソフトボール(男子) 3位
- 剣道 6位
- サッカー 7位
- グラウンドゴルフ 7位
- ゴルフ 10位
- ゲートボール 10位
- 陸上競技
 - 30歳未満100m 市田 晋太郎 2位
 - 30歳未満走り幅跳び 福島 秀太 2位
 - 400mリレー(福島秀太・久保田勝輝・河野誠・市田晋太郎) 2位



じいじとばあばに教わる伝統

ガヤマキ作りに挑戦！名音小学校

名音小学校（新原由起子校長）の児童ら8名は、6月6日名音集落に伝わる「ガヤマキ」づくりに挑戦しました。ガヤマキとは蒸した餅米をガヤ（チガヤ）で包んだ魔除けの飾りで、ゴガツゴンチ（旧暦5月5日端午の節句）に男の子の無病息災を願って作られます。三つの房は男性器の象徴といわれ、玄関や床の間に飾っておきます。

この日はガヤマキの歴史やゴガツゴンチの伝統を学び、集落老人クラブ「むつみ会（宮島吉盛会長）」や保護者の皆さんと実演に挑戦。もち米をカヤで包む作業や、カヤを束ねる作業に悪戦苦闘しながらもそれぞれ作り上げました。完成品を前に重田俊輔くん（3年生）は「2つできたので一つはお父さんに、もう一つは出張でお休みの北岡先生にあげます」と心優しいコメントをしてくれました。実技指導を行った宮島会長

は、「餅米の大きさやガヤの結び方、紐の長さなど出来映えの異なるガヤマキができあがりでしたが、どれも本当のガヤマキです。君たちと一緒に個性があっていいですよ。」と印象的な言葉を語りました。ガヤマキ作りを通して地域の伝統文化を学び、個性豊かな人間へと成長してほしいですね。



お父さんお母さんにも作ります

すももスイーツ作り

大柵小学校（山之内和秀校長・児童22名）では、6月19日木曜日、大和村産のスモモをつかったスイーツ作りを行いました。スモモの加工教室は食育を通じて地域食文化の理解と自然の恵みに感謝することを目的として毎年行われ、児童たちが楽しみにしている恒例行事のひとつです。今年はいまほろば大和生活研究グループ（泉美保子代表）から5名の先生を招き、「スモモパンケーキ」作りに挑戦しました。

前日から炊飯器で加熱していたスモモは、コンポートとジュースに変身。これだけでも十分美味しいのですが、コンポートは種を取って潰し、鍋に移してザラメと水あめを加えて煮詰めると、甘酸っぱいスモモジャムのできあがり。つづいて、パンケーキを1枚ずつ丁寧に焼き上げ、その上にスモモジャムをたっぷりぬってクリームでデコレーション。カフェ風のパンケーキやジャムを挟んだサンドウィッチ風のパンケーキな

ど、それぞれの個性が出た「スモモパンケーキ」が完成。子どもたちの見事な仕上げに、まほろば大和生活グループの先生たちも「あげ～おしゃれなできばえ！」と舌を巻きました。最後はみんな揃ってスモモジュースで乾杯すると「今年も最高！」と児童たちの顔は自然とほころびました。



森と人の営みを感じる里山

滝ノ川山遊歩道完成！

滝ノ川山（タキノコヤマ）は大和浜集落の背後に位置する標高214mの里山。集落の人たちは滝ノ川山をカミヤマとして崇め、樹木の伐採を禁じてきました。先人達は山の木々が水源涵養林として水を育むとともに、溪流沿いの斜面を保護していることを経験的に知っていたのでしょう。

斜面を覆うオキナワウラジロガシ林は奄美大島が北限のブナ科の広葉樹林。人々の生活と深く関わり合いながらも巨木の群落が現存していることから平成19年に「大和浜のオキナワウラジロガシ林」として国の天然記念物指定を受けました。戦後の混乱期に森林の皆伐が進んだ奄美大島において集落に隣接していながらも貴重な植生を有する里山です。

平成22年奄美豪雨時に滝ノ川山から発生した土石流対策として行われた砂防激甚災害対策特別緊急工事がこの程終了。堰堤高8m、堤長77.5mの砂防ダ

ムが完成しました。砂防ダムには滝ノ川山遊歩道への取り付け道路を整備。豪雨災害後立ち入りが規制された滝ノ川山遊歩道の利用が可能となりました。

晴れた日には滝ノ川山のオキナワウラジロガシ林散策はいかが？木々のマイナスイオンが五感を刺激し心身ともリフレッシュできます。



防災訓練で日頃からの備えを

大津波警報を想定に高台へ避難訓練実施

村内全集落を対象とした防災訓練が5月25日9時から行われ、801人の村民が訓練に参加しました。

防災訓練は、奄美大島近海を震源とする巨大地震が発生し、大津波警報が発令されたという想定。各集落の方々は防災行政無線からの避難指示を受け、あらかじめ指定された高台へと向かいました。

大和浜集落では集落背後の滝ノ川山に建設された砂防ダムを新たな避難所に指定。避難途中の階段では消防団や婦人会が高齢者の手を取って介助するなど、声を掛け合って高台へと誘導しました。参加者たちは急な階段に音を上げながらも、「すぐ近くに高台があった。滝ノ川山は周囲が一望できるし、飲み水もあって安心。」などと語っていました。

これから迎える台風シーズンに備え、日頃から災害

を想定した準備と心構えを持ち、いざという時に備えましょう。なお、今回の防災訓練に関するご意見等がありましたら、役場へメール、ファックス等でお送りしていただく他、各集落の消防団員や区長、担当職員へお伝え願います。村民みなさんで、防災意識を高めましょう。



夏休みだって勉強します

夏休み子ども学習教室開講

大和村教育委員会（藤井俊郎教育長）では、夏休み学習教室を開き、児童約 30 名が参加しました。この学習教室は、夏季休業など長期休業の期間に児童生徒を対象として開かれるもので、複数の校区、様々な学年の子どもたちが集団で活動することを通じて、思いやりの心を育み、豊かな心と健やかな体、確かな学力を習得することを目的に実施しています。学校で学ぶ必須科目はもとより、大和村の自然や伝統文化など独自の内容を充実させた教室で、平成 24 年度から始まり、今季で 4 回目の開催となりました。

この日は 5 名の先生が算数を指導。グループに分かれて、1 学期の復習問題や夏休みの課題に取り組みました。普段のクラスメイトとメンバーは違えども同じテーブルで学習すると、自然に高学年のお兄さんお姉さんが低学年に解き方を教えてあげている場面や、先

生の丁寧な個別指導が目立ち、100 点満点の花丸をもらった児童は、うれしそうに次の問題に取り組んでいました。教室に参加した屋井姫詩さん（大和小 3 年生）は、「算数は難しいけど、みんなと一緒にだからがんばります。」と白い歯を輝かせ、楽しみながら勉強に励んでいるようでした。



ホンモノ!? ハブにびっくり

危険な生きもの教室 大棚小学校

大棚小学校（山之内和秀校長・児童 22 名）では、7 月 15 日「危険な生きもの教室」と題して大島支庁保健福祉環境部名瀬保健所のハブ対策専門員を講師に招き、ハブの生態や咬まれないための予防について学びました。

専門員から、ハブは奄美群島の奄美大島、徳之島等に生息する毒を持つヘビで、今でこそ咬傷被害や死亡事例は少なくなったものの昔は命を落とす方も多く、奄美の人々は自然への恐れと畏敬の念を抱き、ハブを「森の守り神」として崇めてきました。またハブは現在でも私たちの生活圏に出没することもあるため、不用意に草むらに入らず、夜間は懐中電灯を持って歩きましょうと説明。また、ポイズンリムーバー（毒吸出器）を使って、毒の吸い出し方や初期対応法について体験した後、生きたハブが登場し子どもたちは少し離れた場所からじっくり観察。質問コーナーでは、「ハ

ブの毒はどのくらい強いのか」「大人になるまでどのくらいかかるのか」と怖がりながらも興味津々の様子でした。参加した前田和香さん（3 年生）は、「ハブは外で見たことあるけど、茂みには絶対行きません。」と元気よく宣言。ハブに十分気をつけてみんな仲良く遊んでくださいね。



小型ポンプ操法部門・初優勝!!

安全性・正確性・迅速性を競う

第 41 回大島支部消防操法大会（鹿児島県消防協会大島支部主催）が 7 月 22 日、瀬戸内町で行われ、小型ポンプ操法部門において大和村消防団（伊村光志団長）が見事初優勝を飾りました。

消防操法訓練とは、防火水槽から給水し、火災現場を想定した火点めがけて放水、消火活動を行うもので、一連の動作の安全性と正確性、迅速性を競う競技。操法技術の向上と消防団の士気高揚を目的として隔年で開催されています。

大和村消防団は、5 月 14 日から訓練を重ね、小型ポンプ操法部門に第 3 分団が、ポンプ車操法部門に第 5 分団が出場。

この日は、大和分駐所 川畑英作司令補が来庁し伊集院村長に優勝報告を行いました。伊集院村長は「当日は強風が吹く悪状況の中、正確で機敏な動作を披露したのは日ごろの訓練のたまものです。団員の皆さん

の労をねぎらうとともに、多くの村民と喜びを分かち合いたい。」と語りました。

優勝した大和村消防団は 8 月 29 日に行われる鹿児島県消防操法大会に大島支部代表として出場します。団員のみなさんのさらなるご活躍をお祈りします。



また来年も会いましょう

閉じ込められたアカウミガメ救出

7 月 22 日 午前 10 時頃、志戸勘集落近くの草刈り作業をしていた森光彦さん（67 歳）は、海岸近くの砂地にウミガメの足跡があるのを発見。志戸勘では珍しいと思い足跡を辿って行くと、くぼ地の草むらの中でじっと動かないウミガメを見つけました。

普通ウミガメは、夜間に砂浜に上がって産卵し、明け方には海へ帰って行きます。自力で脱出できないのだと判断した森さんは、作業員仲間や役場から助っ人を集めて救出活動に乗り出しました。

容赦ない炎天下が照りつける中、カメの体が乾かないよう海水かけながら作業しますが、体長が 1 メートルを超えるカメの体は重く、なかなか持ち上がりません。ロープやパイプを使ってようやく這い上がると、カメは思い立ったように息を荒げ、自力で海へ向かって歩み出しました。

後日、救出作業にあたった重野幸文さん（66 歳）

が現場近くの岩場で釣りをしてしていると、1 頭のカメが近づいてきました。一度だけ海面から顔を出しプシューと鼻息を上げるとそのまま海の中へ消えていったそうです。もしかしたら、助けられたカメがお礼を言いに来たのかもしれませんがね。来年も大和村へ無事戻ってくることを祈ります。



給付金の申請が始まりました

臨時福祉給付金

子育て世帯臨時特例給付金

臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金の申請の受付を開始します。この2つの給付金は、消費税率の引き上げに際し所得の低い方々への負担の影響を緩和し、また子育て世帯への影響を緩和するとともに、子育て世帯の消費の下支えを図る観点から、暫定的・臨時的な措置として実施されます。申請に必要な申請用紙は、全世帯に送付しています。申請書の書き方、内容についてわからないことがありましたら、給付金サポーターがお答えします。給付金サポーターは全戸にお伺いする予定です。



	子育て世帯臨時給付金	臨時福祉給付金
対象者	1月分の児童手当の受給者 ※児童手当の所得制限額以上の方や生活保護受給者等は除く	住民税の非課税者 ※課税者の扶養親族や生活保護受給者等は除く
給付額	対象児童一人につき1万円	一人につき1万円
申請期間	平成26年8月1日（金）～平成26年11月4日（火）	
申請窓口	住民税務課	保健福祉課・集落区長
給付金の支給	平成26年9月（予定）	
問い合わせ先	住民税務課 電話：57-2127	保健福祉課 電話：57-2218

※受給するには申請が必要です。

農業委員会に選任されました

任期満了に伴う農業委員会選挙は7月1日告示され、立候補者が選挙による委員定数と同数となり、無投票当選となりました。これからの3年間、当選された7人の新委員のみなさんが地域の農家代表として活躍し、大和村の農業の振興発展に貢献されることを期待します。

※農業委員会は、みなさんの大切な農地を守る仕事をしています。定期的に農地のパトロールをして、農地を適切に使っているか、また農地の貸し借りや売り買いなど農家の相談や法令手続きのお手伝いをしています。また、村内にある耕作放棄地の解消に向けて調査を行い、農地の貸し借りのあっせんや耕作放棄地解消の指導を行ったりしています。

月に1回開かれる定例農業委員会総会では、農地の所有権移転や貸し借り、農地から宅地などに転用する法令許可業務を行ったり、大和村の農業の振興や発展に向けての話し合いをしています。

このように農業委員は、これらの活動などにより農業経営のために役立つ情報の収集や提供を行い、農家のみなさんの農業全般についてのお世話役をしています。

農家のみなさんは農業のことでお困りのときは、ぜひ地区担当の農業委員の方へご相談下さい。



農作物を

鳥獣被害から守ろう

9月から10月は「鳥獣被害防止対策推進期間」です。農作物を鳥獣被害から守るために次のことに留意しましょう。

- 1 集落内の環境点検の実施**
鳥獣の餌場やすみかとなっているところはないか、侵入防止柵の設置や管理状況は適切か点検を行いましょ。
- 2 無意識の餌付けの禁止**
放任果樹の伐採や出荷できない農作物は適切に処分しましょ。
- 3 人慣れをさせない**
追い払い、追い上げなどの威嚇行動で人慣れ度を低減させましょ。
- 4 農地に近づかせない**
耕作放棄地やヤブを無くしましょ。



募 集 恒 目 受 賞 資 格		受付期間 (締切日必着)	試験期日	合格発表	入(校)隊 待遇・その他
航 空 学 生	企業(2年制) 有 期 制 (15名/年次下等) 無 期 制 (15名/年次下等) 15名/年次下等	高卒(または12歳未満) 15歳以上	1次:10月27日 2次:11月13日～25日 3次:11月13日 ～12月10日	1次:10月10日 2次:11月13日～25日 3次:11月13日 ～12月10日	57歳以下 ～1月1日 入隊後在籍中 2等給・3等給
一 般 普 候 補 生	企業(2年制) 有 期 制 (15名/年次下等) 無 期 制 (15名/年次下等) 15名/年次下等	高卒(または12歳未満) 15歳以上	1次:10月27日 2次:11月13日～25日 3次:11月13日 ～12月10日	1次:10月10日 2次:11月13日～25日 3次:11月13日 ～12月10日	57歳以下 ～1月1日 入隊後在籍中 2等給・3等給
自衛官候補生	男子 企業(2年制) 有 期 制 (15名/年次下等) 無 期 制 (15名/年次下等) 15名/年次下等	高卒(または12歳未満) 15歳以上	1次:10月27日 2次:11月13日～25日 3次:11月13日 ～12月10日	1次:10月10日 2次:11月13日～25日 3次:11月13日 ～12月10日	57歳以下 ～1月1日 入隊後在籍中 2等給・3等給
防衛大学校生	推薦 企業(2年制) 有 期 制 (15名/年次下等) 無 期 制 (15名/年次下等) 15名/年次下等	高卒(または12歳未満) 15歳以上	1次:10月27日 2次:11月13日～25日 3次:11月13日 ～12月10日	1次:10月10日 2次:11月13日～25日 3次:11月13日 ～12月10日	57歳以下 ～1月1日 入隊後在籍中 2等給・3等給
防衛医科大学校医学科学学生	企業(2年制) 有 期 制 (15名/年次下等) 無 期 制 (15名/年次下等) 15名/年次下等	高卒(または12歳未満) 15歳以上	1次:10月27日 2次:11月13日～25日 3次:11月13日 ～12月10日	1次:10月10日 2次:11月13日～25日 3次:11月13日 ～12月10日	57歳以下 ～1月1日 入隊後在籍中 2等給・3等給

【お問い合わせ先】
自衛隊鹿児島地方協力本部 奄美大島駐在員事務所 住所：奄美市名瀬永田町17-3 大島支庁内 別館2階
 電話：0997-53-9103 ※：その他、詳細については奄美大島駐在員事務所までご連絡下さい。

入ってますか？ 建退共済制度

建退共制度は、中小企業退職金共済法に基づき建設現場労働者の福祉の増進と建設業を営む中小企業の振興を目的として設立された退職金制度です。
 この制度は、事業主の方々が、労働者の働いた日数に応じて掛金となる共済証紙を共済手帳に貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに建退共から退職金を支払うという、いわば業界全体での退職金制度です。

- 加入できる事業主：建設業を営む方
- 対象となる労働者：建設業の現場で働く人
- 掛金：日額310円
- 特徴
 - 1 国の制度なので安心、确实、申し込み手続きは簡単です。
 - 2 経営事項審査で加点評価の対象となります。
 - 3 掛金の一部を国が助成します。
 - 4 掛金は事業主負担となりますが、法人は損金、個人では必要経費として扱われ、税法上全額非課税となります。
 - 5 事業主が変わっても退職金は企業間を通算して計算されます。

※詳しくは、最寄りの建退共支部へお問い合わせ下さい。
 鹿児島支部
 〒890-8512
 鹿児島県鹿児島市鴨池新町 6-10 鹿児島県建設センター内 TEL 099-257-9216



台風シーズンに備えよう！

防災行政無線受信機の確認 ～電源ランプほか～



- 電源ランプ …… 受信機の状態
- 緑点灯 …… 正常です。
- 赤点灯 …… 停電です。
- ★ ★ 赤緑交互点滅 …… 電池切れです。
- ★ 橙点滅 …… 受信圏外です。
- ★ 赤点滅 …… 故障です。

※防災行政無線に関するお問い合わせは大和村役場総務企画課 (TEL 0997-57-2111) までお問い合わせ下さい。

アンテナ：聞き取りにくい場合、アンテナが十分に伸びているかまたはアンテナの方向を確認してください。
電子音：放送終了後に短い電子音が3回鳴るものは電池が切れています。
電池：電池が消耗している場合は電源ランプの赤色と緑色が交互に点滅しますので交換してください。
電池：乾電池は単1（大）、単2（中）、単3（小）のどちらでも使用できます。
電源：電池を交換後も電源ランプは点滅しますので電源を入れ直すかコンセントを差し込み直してください。

奄美フォレストパリス

おまみのわくわくじぜん・ワンダーランド

(HP) <http://www.amamiforest.com/> (FB) <https://www.facebook.com/amamiforest> (blog) <http://amamiforest.amamin.jp/>

ホームページ・ブログ・フェイスブックにて情報発信中



今月の題字

やまと

(と) 大棚小学校6年 森田祥太郎さん
(ま) 大棚小学校6年 直崎 広生さん
(や) 大棚小学校6年 中島 心優さん

今月の題字は、大棚小学校の6年生3人に書いていただきました。

撮影日はちょうど一学期の終業式。明日から始まる夏休みを前に、表情も明るい同級生の仲良し3人組。夏休みは、それぞれ取り組んでいるスポーツ競技の大会出場に向けて、日々練習に励むそうです。みなさんのご活躍をお祈りいたします。

ご誕生おめでとう

福本 大晟さん(福本新平・思勝)

お悔やみ申し上げます

奥山 イワ 様(76歳・大棚)
宮島 猛 様(64歳・戸円)
伊集院 チワエ 様(75歳・津名久)
窪田 廣範 様(81歳・大棚)
晨原 サト 様(86歳・国直)
戸内 行男 様(92歳・戸円)
鬼塚 フミエ様(84歳・大棚)
田河 龍義 様(87歳・戸円)

香典返し(社会福祉協議会へ)

重 伊佐治 様(故重イズエ様)
川畑 清朗 様(故川畑りつ子様)
積山 カヨ子 様(故宮島猛様)
奥山 徳次 様(故奥山イワ様)
晨原 光雄 様(故晨原サト様)
鬼塚 卓朗 様(故鬼塚フミエ様)
田河 順朗 様(故田河龍義様)

ふるさと納税ありがとうございます

山田 末廣 様(愛知県)
貞野 広和 様(埼玉県)

こせきの窓

人口 1,651人(+4)
男 801人(+5)
女 850人(-1)
世帯 886戸(+12)

7月1日現在
(前年同月比)

広報やまとからのお願いとお知らせ

■写真・氏名掲載ご了承ください

広報やまとは、「顔の見える身近な広報誌」を目指しています。誌面にて多くの皆様の顔写真や氏名年齢等が掲載されますが、何卒ご理解のうえご了承ください。また、何卒ご理解のうえご了承ください。

■お便りお待ちしております

村政への要望や広報誌への意見、今後特集して欲しい記事などを募集しています。紙面にてご紹介いたしますので、巻末住所(アドレス)まで郵送またはメール、ファックスにてお送りください。

広報誌謝礼ありがとうございます

三代川 みどり様(鹿児島市)
山田 俊一 様(千葉市)
永野 章 様(横浜市)

ご存じですか。後納制度

国民年金の後納制度は、過去10年間に納め忘れた保険料を納付することにより、将来の年金額を増やすことができるものです。

また、年金を受給できなかった方は後納制度を利用することで年金が受けられる場合があります。過去10年以内に納め忘れた保険料がある方は、ぜひ後納制度をご利用ください。なお、後納制度が利用できる期限は平成27年9月30日までとなっています。お早めに申し込みください。

※お問い合わせの際は、基礎年金番号がわかるものをご用意ください。

□受付時間

月曜日 午前8時30分から午後7時
火・金曜日 午前8時30分から午後5時15分
第2土曜日 午前9時30分から午後4時

□問い合わせ先

国民年金保険料専用ナビダイヤル
電話：0570-0001-050
※「050」から始まる電話のおかげになる場合は
電話：03-6731-2015

奄美サポーターステーション

奄美若者サポーターステーションは、働くことや自立について悩みを抱える若者に適切なサポートを実施して、主に、職業的自立を目指して後押しするところです。

《支援内容》

□対象者

15歳から39歳までの若者とその家族

□相談(面談・電話・メール)

これまでの経験や興味のあること、要望等を整理し、今後の進路や自立に向けてのステップを一緒に考えます。

□職場見学・職業体験

様々な企業・施設への見学、農作業体験・ボランティア活動等多様な活動を通じて、就職に向けた心構えや技能を身に付けます。

□家族へのサポート

就労や社会的自立についての個別面談を行います。自宅への訪問を行いより身近な支援を行うことも可能です。

□開所時間

月曜日～金曜日 午前9時～午後6時(土日・祝祭日・年末年始は休み)

□連絡先

〒894-0036 奄美市名瀬長浜町23-25 NPO法人奄美青少年支援 センター「ゆずり葉の郷」内2階
奄美若者サポーターステーション
電話 0997-57-0770 (FAX 兼用)
Eメール
Amami-saposute@polka.ocn.ne.jp
ホームページ
<http://amami-saposute.sakurane.jp/>

森林所有者の届出制度

平成24年4月から「森林の土地の所有者」となった方は市町村長へ事後届出が義務づけられました。

□届出対象者

個人・法人を問わず、売買や相続などにより森林の土地を新たに取得された方は、面積に係わらず取得した土地のある市町村長へ届出をしなくてはなりません。

□届出期間

森林の土地の所有者となった日から90日以内。

□届出事項

- ・届出者と前所有者の住所・氏名
- ・所有者となった年月日
- ・所有権移転の原因
- ・土地の所在場所及び面積、地図
- ・登記事項証明書

※届出をしない、又は虚偽の届出をしたときは、10万円以下の過料が科されることがあります。

□問い合わせ先

役場産業振興課 平
電話：0997-571-2153

統合失調症家族教室のご案内

統合失調症患者のご家族を対象に「家族教室」を開催します。家族の対応方法を考えたり、患者さん自身の体験談を聴く時間もあります。同じ悩みを抱えるご家族同士、思いを共有し、語り合いまししょう。

□対象者

統合失調症患者のご家族

□費用

無料

□会場

大島支庁4階中会議室

□主催申込み・問い合わせ先

大島支庁地域保健福祉課(名瀬保健所) 担当：吉村・勇
電話：0997-571-7243

ご希望する回だけの参加も可能です。

※ 講話の後に交流会を開催します。

※ 申し込みいただいた個人情報は今回の家族会のみで使用し外部にお知らせすることはありません。

日 時	内容
【第1回】 8月22日(金) 14時～16時	①統合失調症ってどんな病気？
【第2回】 9月26日(金) 14時～16時	①病気と付き合う患者さんの思いを聴こう！ ②暮らしを支える社会資源のお話
【第3回】 10月24日(金) 14時～16時	①家族 SST こんな時家族はどう対応する？ ※ SST: 社会生活技能訓練

野山の



休憩処 アダン

ちょっと一息つきにきませんか

第15回



アダンはタコノキ科の常緑小高木。日本ではトカラ列島以南の海岸沿いに生育し、時に立派な群落を呈します。この群落は、台風などの暴風や高潮から集落を守り、自然の防波堤として私たちの暮らしを影ながら支えてくれています。大和村でも奄美の原風景とも感じる立派なアダンの群落が国定公園ヒエン浜などで見られます。

アダンは雌雄異株で夏期に花を咲かせ、雌株にはアダンの特徴ともいえるパイナップルのような実になります。若いときは緑色ですが、熟すと濃い橙色になり、辺りいっぱい甘い匂いが広がります。



さも美味しいのだろうか
じつてみると、なんとも繊維質が多く、芳しい香りの割りに甘みもそれほど感じず、パイナップルのような美味しいフルーツではないようです。しかし、ふと足下に目を向けてみると、アダンの木陰の中で、カチカチカチ・・とお互いの貝殻をぶつけ合いながら我先に！と、落ちたアダンの実にひしめき合うオカヤドカリ達の姿がありました。また、木になっている実をよく観察してみると甲虫やチョウも集まっています。アダンは、いろいろな生きものたちにとって美味しい「休憩処」だったようです。



←バーコード読み取り機能付き携帯電話をご利用の方はここから大和村ホームページ携帯サイトへ簡単にアクセスできます。それ以外の方は直接 URL を入力してアクセスしてください。
(<http://www.vill.yamato.lg.jp/i/>)

発行・編集 大和村役場総務企画課
〒 894-3192 鹿児島県
大島郡大和村大和浜 100 番地
TEL 0997-57-2111
FAX 0997-57-2161
mail:info@vill.yamato.lg.jp
<http://www.vill.yamato.lg.jp>